

2019年度上半期における海難救助の状況

2019年4月1日から9月末までの間に、全国で192件の海難救助に出動し、195名、76隻を救助しました。

全国各地の地方水難救済会の救難所に救助要請のあった101件の船舶海難及び91件の人身事故事案に対し、716隻の救助船と1,987名の救助員が出動し、195名の人命と76隻の船舶を救助しました。

昨年度同時期の報告と比較し、出動海難件数は29件多く、救助した人命は51名の増加、船舶は12隻の増加でした。

(2019年10月11日現在速報値)

